

平成30年9月19日(水) 校内研究 話題提供授業と協議

3年生 総合的な学習の時間



3年3組は、「町づくり」というテーマの下、「大森の海苔」のよさとその継承に力を注ぐ人々を探究課題として学習を進めています。

前週に海苔のふるさと館に行き、施設の中を見学したり、元漁師の方と話したりした子供たち。この授業では、そこで面白かったことや楽しかったことなどをたくさん出し合っていました。海苔のふるさと館のよさを多面的に理解し、改めてそのよさを実感していました。1人の発言にクラスみんなが共感し、つぶやきが広がる様子が印象的でした。



授業後は、自分の意見を付箋に書いて5～6名のグループで交流したり、全体で意見を出し合って議論を深めたりしました。今回は、めあての在り方、出し合いと話し合いの違い、意見の分類の方法などが話題となりました。

その後、文部科学省の渋谷一典教科調査官から、個人やペアでの活動で生み出された考えを全体の場で取り上げていくことの大切さや、めあては「どういう視点で・何をして・どこに向かうのか」が明確になることが重要であることなどについて、ご指導いただきました。